堀川同窓会報

HORIKAWA ALUMNI ASSOCIATION JOURNAL

第12号　　2019年３月発行

HORIKAWA
111th

同窓会会長
市田ひろみ

装いって？

災害が多かった平成30年も後半は嬉しいことが続きました。

スケートやバトミントンも若者たちの努力の成果ですが、何と言っても「ノーベル賞」の話題には驚きました。

京都大学の「本庶佑教授」が医学生理学賞を受賞されました。12月10日スェーデンのストックホルムのコンサートホールは、各国代表3,000人の祝禄の嵐であり、スェーデン国王「カール16世　グラタス教」からメダルを授与され、業績を讃えられました。

中でも、世界中の出席者たちを魅了したのが、教授の紋付姿でした。五つ紋付の第一礼装は、黒無地に仏台平の袴です。これが日本の男性の第一礼装の装いです。

尊いクリマティーナ王女の手を取って歩かれました。ゴルフが上手で、姿勢がよいのにも、驚かされました。

私は世界の民族衣装の研究をしており、百ヶ国の民族の衣装のコレクションを持っておりますが、いわゆる節目毎に装いを改めるのは、世界共通だと思います。

日本の場合、人が生まれてから他界するまでの間、人生をくぐりぬける儀式を「通過儀式」と呼んでいます。例えるなら、お宮参り、七五三、十三参り、成人式、結婚式、葬式がこれに当たります。

本庶教授は、受賞のスピーチの中で「免疫療法をすべての人に…」という文面がありましたが、必要とする人々に自分の生涯向き合ってきた研究が生きることを願っていらっしゃると思いが伝わってきます。

堀川高校の卒業生も様々な分野で活躍されていらっしゃるのが、いつの日かノーベル賞の候補に名前が挙がる人を輩出することでしょう。

目標は高く、努力を重ねていただき、堀川高校の生徒たちに期待しております。

同窓会会長　市田ひろみ

堀川高校校長
谷内秀一

ドラスティック イノベーション

平素は母校の発展のためにご理解とご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

本年度６月10日（日）に、堀川同窓会110周年記念事業が盛大に開催され、その会場で卒業生６名に就学支援金を授与いただき、誠にありがとうございました。今年度も生徒たちは様々なことに全力でチャレンジしました。放送局は、第57回京都府高等学校放送コンテスト兼第65回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテストにおいて、ラジオドキュメント部門で第１位に、そして創作ラジオドラマ部門でも第２位に選ばれ、２作品が全国大会に出場しました。そして自主ゼミ活動であるハイレベル理数ゼミのメンバーが、京都科学グランプリ2018兼第８回科学の甲子園全国大会京都府予選会にて見事最優秀賞となり、京都代表として３月の全国大会に出場します。今年度も全国レベルにつながるチャレンジをしております。さらに、タイで開催されました「第７回Asia-Pacific Conference of Young Scientists（APCYS 2018）」という科学研究の大会で、オーラルプレゼンテーション部門におきまして、見事金メダルを獲得しました。世界に向けてのチャレンジもしております。

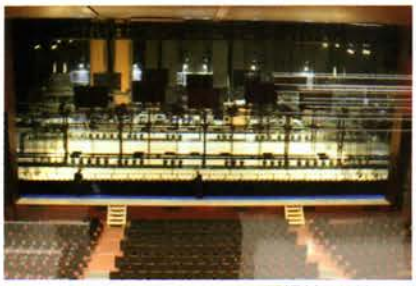
堀川同窓会110周年として、伝統の「自主・自立」の精神が、綿々と引き継がれ、現在も「自立する18歳」の育成を最高目標として教育の柱としております。その「自主・自立」の精神の伝統を土台とし、学びのスタイルとして「探究活動」を展開しているところです。文部科学省から「新学習指導要領」告示がありました。学習活動の中の「教科・科目等」について、「理数探究」や「日本史探究」「世界史探究」等、また「総合的な探究の時間」など「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められており、堀川で培ってきている「探究活動」がモデルとされています。「自主・自立」の精神を土台とした探究活動が、今、全国に展開されていこうとしています。私たち教職員、そして生徒、保護者はさらに全国に先駆けた教育のイノベーションに専心してまいりたいと思っています。

多くの方々に見守られる在校生たちは幸せです。同窓会の皆様のますますのご健勝をお祈りするとともに、今後とも、母校への一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

堀川高校校長　谷内秀一

第110回記念堀川同窓会開催　ロームシ

ロームシアターメインホール



開場前のスタッフの入念な打ち合わせ

エントランスでお出迎えの会長・理事さんたち

葉加瀬さんコンサートでは珍しいアコースバックバンド６名とともに奏でる幻想的なトークに参加した2,000人の会員も大感動

【演奏曲】

①エトピリカ、②シシリアンセレナーデ、⑤リベルタンゴ、⑥WHITH ONE WISH、⑨ハンガリー舞曲第５番、⑩情熱大陸、

ぞくぞくと入場される会員の皆様

市田会長の開会のご挨拶で始まりました

コンサート司会者
（KBSアナウンサー）

定員2,000席のメインホールは満席となりました

最初の曲は「エトピリカ」

やはり最後は「情熱大陸」で最高潮を迎えました

葉加瀬さんのユーモラスなトーク

中締めは山口理事

アターメインホール　平成30年6月10日

懇親会の司会者　津田さん（高29期）

懇親会場ステージには、桑原専慶流師範、宮内真理（高43期）さんに豪華な生け花を生けて頂きました。

ティックで行われました。
コンサートと、葉加瀬さんのユーモラスな
でした。

③冷静と情熱のあいだ、④Asian Roses、
⑦タイスの瞑想曲、⑧Tritsch-tratsch-polka、
⑪ひまわり

コンサートを終えご挨拶される葉加瀬さんとバックバンドの皆さん

チケットは事務局
メンバーで手作り
しました

花束贈呈された市田会長と葉加瀬さんのツーショット

第110回記念堀川同窓会開催　懇親会（みやこめっせ）

会場をロームシアター向かいのみやこめっせに移し、懇親会が行われました。
懇親会は堀川高校現役邦楽部の皆さんのウエルカム演奏で始まりました。演奏曲名「夢の輪」　作曲者「沢井比河流」

邦楽部部長は３年生の桑垣汐里さん。

第110回記念堀川同窓会開催　懇親会(みやこめっせ)

葉加瀬さんは懇親会にも参加いただきました

乾杯は門川市長(高21期)　もちろん日本酒で

恩師塩谷先生から花束贈呈

葉加瀬さんの同級生の皆さん

葉加瀬さんのお母様も参加されました

谷内校長から、奨学生の紹介
蘆田稜さん、太田明音さん、泉和佳奈さん、國增雄一郎さん、東希さん、長谷部依央さん

着席会場は大型モニターでリアルタイム鑑賞

懇親会には900名ほどの会員の皆様が参加され、ライブ会場(立食)と着席会場に分かれて鑑賞されました

ネイビーズアフロの漫才
皆川勇気さん(高63期)　羽尻紘規さん(高63期)

111回(次回)代表幹事の伊藤さんと新実さん

110回代表幹事の北村さんとスタッフの皆さん

締めは恒例の生徒会歌「緑なす森」の大合唱

懇親会場にて110回記念グッズを販売しました

来年も堀川同窓会で会いましょう！

第110回記念堀川同窓会を終えて

感動と感謝感謝です！ 100周年では佐渡裕さん、そして110周年では葉加瀬太郎さん。堀川が誇る同窓生をお迎えし、実に盛大、有意義な記念事業。素敵な先輩方や同窓生と交流を深め、自主性と創造性、多様性を重んじる堀川の素晴らしさを改めて実感しました！ご尽力いただいた方々に心から感謝します。

教育長を経て、皆さんの力強いご支援の下に市長に就任して10年余。日ごろ京都を駆け回る中で、あちこちで「堀川が輝いていて嬉しいです」等のお声をいただき、堀川高と堀川に象徴される京都の教育・文化の力を誇りに思います。

堀川高の躍進は「堀川の奇跡」と言われましたが、決して奇跡ではありません。伝統のうえに創造力を発揮し、改革に献身された教職員や生徒、同窓会の皆さんの熱意の賜物。今、堀川の改革の成果は、西京高や工学院高（伝統を誇る伏見工と洛陽工が歴史的統合！）をはじめ市立高校全体の躍進に！さらに市立・府立・私立が切磋琢磨して京都全体の教育が向上しています。そして堀川で実を結んだ「探究」型の教育が、国の新学習指導要領に盛り込まれるなど、全国の教育改革に貢献してます。

さて、私たちの先人は、明治維新で都の地位を事実上失い、人口が３分の２に減少するなど都市衰退の危機にあった時に、「子どもさえしっかり育てれば未来は明るい」と、文科省ができる前に地域制の64の小学校を創設・運営。さらに日本初の画学校（現在の市立芸大・銅駝美工高）、工業高校（現在の市立工学院高）を創設。人を育て、文化を大切にし、そして琵琶湖疏水や市電の開設など経済・産業に結びつけて今日の京都の礎を築かれました。

こうした歴史に学び、今を見据え、未来をデザイン！ 2021年度中には、機能強化した文化庁が京都へ全面的に移転。そして2023年度には、市立芸大・銅駝美工高が京都駅東部の崇仁地域へ移転するなど、文化・教育を基軸とした都市経営を推進します。文化で日本中を元気に！京都がその先頭に立ち、全国、世界とつながり、経済の活性化へと結びつけ、世界の平和へと取り組みます。日頃のご支援に感謝。引き続きご指導よろしくお願いします。

京都市長　門川大作（高21期）

◀110回同窓会でご挨拶される門川さん

同窓会事務局からのお願い

今般、堀川同窓会は110回を迎え、また、今後、更に発展していくために、市田ひろみ会長をはじめ事務局一同無償で活動しております。

この会報誌の発行や同窓会開催などの同窓会維持運営の原資は、会員皆様からの「協力金」によるものです。毎年、会報誌の発行とともに、「協力金」の募集をさせていただいておりますが、近年、協力金は減少傾向で、同窓会運営はたいへん厳しい状況にあります。

別紙に「堀川同窓会運営協力金」の趣意書を同封させていただいておりますので、是非、ご賛同いただけますようお願い申し上げます。

堀川同窓会事務局

堀川高校の平成30年間の歩み

平成30年４月、恩田徹前校長の後任として第20代堀川高校校長に着任されました谷内秀一先生から堀川高校の近況についてのお話を頂きました。

探究学科設立と新校舎

平成時代30年間の堀川高校の変遷と出来事や思いでなどをピックアップしてお伝えいたします。

平成時代、最も大きな変化としましては、平成11年(1999)に校舎の新築建て替えと同時に、時代の求める人材育成を見据えた、多様化する生徒に対する指導を的確なものとするため、授業を中心に、画一から多様への魅力ある普通科と新しい専門学科「人間探究科」「自然探究科」を開設したことです。

平成５年(1993)に校内で教育改革に対する「検討小委員会」を設置し、翌年にかけて、教職員研修や授業公開をはじめとする授業研究の推進、教育施設の在り方などについて議論を重ね、平成７年(1995)には「新堀川構想委員会」を設置。そして京都市教育委員会に新専門学科開設の要望をまとめました。京都市教育委員会は、教育長の諮問機関として「京都市立高等学校21世紀構想委員会」を設置し、21世紀を展望した魅力ある新しい高等学校の在り方についての検討を進め、生徒一人ひとりの個性を尊重すること、変化と多様性に対応し主体的に選択する力を育むこと、そして、未来を切り拓くたくましい創造性と他者を尊重する豊かな人間性を育むことを教育改革の理念として提示され、さらに音楽科の独立本校化とともに堀川高等学校の校舎新築が提言されました。

平成８年(1996)校舎全面改築開始。京都市立高等学校21世紀構想委員会第二次答申において、京都市立高等学校教育改革のパイロット校として位置づけられました。

平成９年(1997)「新堀川構想委員会」は「準備委員会」となり、平成11年度開設に向けて、本格的な準備に入るなか、教育課程の編成、教育活動の具体化を進め、２学期制の導入、７時限授業の設定、制服の導入等が決定。教育委員会学校指導課内に「堀川高等学校新学科開設準備室」が、元本能小学校内に設置され、21世紀構想委員会の最終答申をまとめた。音楽科は、京都市立音楽高等学校として独立。

平成10年(1998) 平成10年３月、京都府教育委員会は、「人間探究科」「自然探究科」の設置を認可しました。

平成11年(1999) 新校舎竣工 「人間探究科」「自然探究科」１期生入学。

平成12年(2000) 創立記念事業「高等女学校90周年、高等学校50周年」「あゝ 我が青春の堀川」発行（堀川記念事業委員会）

平成13年(2001) 定時制課程閉制

平成14年(2002) 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)研究指定校(３年間) 第１期

平成17年(2005) 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)研究指定校(５年間) 第２期　　本能館竣工

平成20年(2008) 創立100周年　堀川憲章制定

平成22年(2010) 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)研究指定校(５年間) 第３期

平成24年(2012) 文部科学省「国際バカロレアの趣旨を踏まえた教育の推進」調査研究校(３年間)

平成25年(2013) 陸上競技部山西利和、世界ユース選手権大会10000m競歩優勝(世界１位)、インターハイ男子5000m競歩優勝。同じく陸上競技部山田はな、インターハイ女子5000m競歩４位。山西利和は、平成30年(2018) アジア大会20K競歩２位、世界競歩チーム選手権20K競歩４位、日本選手権20K競歩２位、ユニバーシアード20K競歩優勝など、輝かしい成績を残し続けています。2020年の東京オリンピック代表を目指して頑張っています。

平成26年(2014) 文部科学省スーパーグローバルハイスクール(SGH)研究指定校(５年間)

平成27年(2015) 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)研究指定校(５年間) 第４期　本能館開設10周年記念事業(11月1日)

平成30年(2018) 堀川同窓会110周年記念事業

校舎建て替えの歴史

平成３年
堀川埋め立て

平成９年
新校舎建設

平成10年
新校舎と
旧校舎

平成12年
新校舎完成

平成28年
歩道橋撤去

第20代 堀川高校 校長 谷内秀一先生

伝統の文化祭

自主・自立の精神を綿々と引き継ぎ、生徒主体の大きな学校行事として「文化祭」を振り返ってみました。平成元年に行われた旧校舎での文化祭から５年ごとに写真をピックアップしました。

平成元年

平成５年
仮装行列

平成10年

平成15年

平成25年

平成30年

文：堀川高校校長　谷内秀一

第12代校長恩田修三先生「瑞宝小綬章」受章！

昭和61年～63年、堀川高校の学校長でいらっしゃいました恩田修三先生が「瑞宝小綬章」を受章されました。心よりお慶び申し上げます。

７月18日に勲章と勲記をお届けにまいりました。ご受章に関しましては、「ずしっと、重いものを感じますね。」と笑顔でおっしゃっておられました。

活躍する卒業生

ネイビーズアフロ

皆川勇気さん(高63)　羽尻紘規さん(高63)

お二人は神戸大学出身。その後、吉本興業へ入社。若手お笑いコンビとして活躍中。

左：皆川勇気さん
右：羽尻紘規さん

皆川さんプロフィール

生年月日：1992年9月22日
身長／体重：182cm ／62kg
血液型：A型
出身地：京都府 京都市
趣味：カラオケ、フルマラソン(3時間44分)、サッカー
特技：ミスチル、コブクロの曲は全曲歌詞なしで歌える
出身/入社/入門：2010年 NSC大阪校 33期生

羽尻さんプロフィール

生年月日：1992年7月16日
身長／体重：169cm /59kg
血液型：O型
出身地：京都府 京都市
趣味：AKB48等アイドル全般、バドミントン、卓球、ゲーム（太鼓の達人）
特技：暗記
出身/入社/入門：2010年 NSC大阪校 33期生

堀川高校時代

中学３年生の時、受験勉強に明け暮れていました。学校から帰っても夜中まで勉強。休みの日も朝早くから夜遅くまで勉強。堀川高校の探究学科に合格したい一心で日々を過ごしていました。迎えた受験の結果は不合格。とても落ち込みました。普通科で再受験し、堀川高校に入学しました。その入学式の日、皆川とはじりは同じクラスの隣の席。２人ともが探究学科の受験に失敗した結果、同じクラスになったのです。お互い、みているテレビ番組が同じだったり、お笑いへの興味を持っていたりと、すぐに意気投合しました。そうして始まった高校生活。皆川はサッカー部、はじりはバトミントン部に所属し、日々部活動に勤しんでいました。堀川高校の良いところは切り替えの良さ。勉強はもちろんのこと、部活も文化祭も、やるときはみんなとことんやります。文化祭前なんて、ほとんどみんな勉強を忘れて稽古やダンスに熱中していました。我々も例に漏れず、文化祭で開催されることになった漫才コンテストへの参加を決め、お互いに違う友達を誘って漫才の稽古の日々を送りました。本番では大勢の方の前でネタを披露し、人を笑わせることはこんなに楽しいことなんだと肌で感じたのを覚えています。文化祭が終わっても、友達や先輩後輩が「おもしろかったで！」「あ！漫才してた人や！」とちょっとした人気者に。たまらない感覚になりました。皆川の方は、小学生の頃からお笑い芸人に憧れていた為、これを機に「よしもとに入ろう！」と現実的に決意したのでした。「芸人になるのにも、何か特徴があった方がいいだろう！」という安直な発想から大学進学も決め、志望大学も同じ神戸大に。

吉本興業へ入社

文化祭でお互いの漫才を見ていた２人は、「よしもとのオーディション受けにいこう！」と早々とコンビを組み、活動をスタートさせました。大学に通いながら始めた芸人生活も８年目に突入しました。３年前からは毎月単独ライブを開催し、たくさん漫才をつくって、コツコツと、本当に少しずつですがテレビへの出演も増え、今ではラジオのレギュラー番組も持たせて頂けるようになりました。

今思い返すと、探究学科の受験に失敗していなければ、２人が仲良くなることもなかったかもしれませんし、コンビも組んでいないかもしれません。また、文化祭で漫才コンテストがなければ、この道に進んでいなかったかもしれません。失敗によって良い方向へと導かれることもあるということを教えてくれたのも堀川高校を目指しての受験勉強ですし、人前で話すことの楽しさを知れたのも、自由な堀川高校の校風があったからこそです。とにかく何事も全力で挑んでいくことの大切さを堀川高校で学びました。

堀川の卒業生には、すごい仕事に就かれている方がたくさんいるかと思います。我々もその一員になれるよう、そして後輩達や卒業生の皆さんに誇って頂ける存在になれるよう、これからますます頑張りたいと思いますので、是非あたたかく見守って頂き、応援頂ければ幸いです。M－１グランプリを始めとする漫才のコンテストや、様々なテレビ番組と、今は未来に向けて希望で胸がいっぱいです。

文：皆川勇気・羽尻紘規

昨年の110回
記念同窓会に
出席し漫才を披露

活躍する卒業生

渡邉廣之さん（高29）

㈲巧彩　代表取締役

堀川高校29期生の「京都府の現代の名工」をご紹介させて頂きます。
伏見区醍醐在住　「渡邉廣之」氏です。
渡邉さんは、「有限会社　巧彩」の代表取締役を務めておられ、建築塗料業界で、国土交通大臣表彰、厚生労働大臣表彰、京都市長表彰など数々の表彰を受け、また、多数の技能試験の審査員を務めておられます。
また、高校生時代には、スキー部に所属され、活躍されておりました。
渡邉氏の塗装技術というと、家具が経年劣化したような特殊な塗装のエイジング塗装、また、天板に合わせた石目調に塗装を行うなど、装飾的かつ、高級感溢れる技術を有しておられます。
建築塗装業界は、職人の技術向上を目指し、労働力不足を補う意味での外国人労働者の雇用等、他の職業同様、様々な問題が山積みなようです。

文：北村勝信（高29期）

渡邉廣之氏略歴

㈲巧彩　代表取締役　60歳。
昭和52年に同社入社後、平成５年より現職に就く。本会では、平成18年から技術委員を経て、現在、副委員長を務める。支部においては、平成16年から幹事、平成18年から副支部長を経て、平成28年から支部長へ。平成16年から京都府塗装工業協同組合理事就任。
京都府中小企業団体中央会会長表彰等（平成21年）、京都府知事表彰（京都府優秀技能者・京都府の現代の名工）（平成26年）、国土交通省土地建設産業局長感謝状（平成27年）、京都市長表彰（平成27年）、全技連マイスター（平成26年）、全国建設産業団体連合会会長表彰（平成28年）、表彰多数受賞。
京都府支部推薦。（京都府支部）

本誌編集後記

昨年は記念すべき同窓会110回を迎え、現在の堀川音楽高等学校卒業生のヴァイオリニスト「葉加瀬太郎」さんに演奏をお願いし、「ロームシアター京都」でコンサートが開催され、大盛況でした。集客数目標の1,400名を大きく上回る2,004名の参加を頂きました。また、コンサート終了後、引き続き「みやこめっせ」で行われた懇親会には、約900名の参加があり、旧交を温めて頂きました。
堀川同窓会では、これまで曖昧であった同窓会組織を３年前に改定し、新たな組織作りを始めました。この110回記念事業を大成功に収めたのは、先輩方の平成27年10月の葉加瀬さんの会報誌取材をきっかけにして、契約交渉、役員会承認、プロジェクトチームの発足等を経て平成30年６月10日の本番を迎えるに至りました。
営利目的でない同窓会主催で、言わば素人集団ですので、何から何まで初めての試みで、結成された「チーム110」は大変苦労しました。
しかし、成功した後のこの上ない充実感、達成感は最高のものでした。
本会報誌を発行するにあたり、谷内校長先生、市田会長をはじめ、役員の皆様、先輩諸氏及びお世話になった方々に心からお礼申し上げます。本当に有難うございました。

110回実行委員長　北村勝信

【お詫びと訂正】
昨年度会報誌の卒業生訪問ページの堀智行さんの卒期が誤っていました。高44期（誤）→ **高40期**（正）でした。
訂正しお詫び申し上げます。

第111回 堀川同窓会

～平成最後の堀川同窓会～

昭和から平成の時代に大活躍された堀川OBのお二人を迎えて

平成 31. 4/20 (土)

時間 12：00～

会費 7,000円

佐藤 禎一　Teiichi Sato

高12期(昭和35年卒業) 元文部事務次官
1941年生まれ
堀川高校卒業後京都大学法学部を経て文部省に入省
文化庁次長 学術国際局長 大臣官房長を経て
1997年に文部事務次官に就任、退官後
日本学術振興会理事長
ユネスコ日本政府代表部特命全権大使
東京国立博物館長を歴任し、現在
NPO法人大学経営協会会長
政策研究大学院大学客員教授
著書 講演多数

×

北村 源三　Genzo Kitamura

高音7期(昭和31年卒業) トランペット奏者
1937年京都生まれ　東京藝術大学卒業
1960年NHK交響楽団に首席奏者として入団　1993年定年退職
1962年～1965年ウィーン国立アカデミーに留学
第27回日本音楽コンクール管楽器部門第1位入賞
1991年第11回有馬賞を受賞
国立音楽大学教授及び理事　東京藝術大学講師
日本トランペット協会会長を歴任
現在、国立音楽大学招聘教授　日本音楽コンクール顧問
ソロの分野において全国各地でリサイタルを開催
録音CD多数

場所

KYOTO TOKYU HOTEL
京都東急ホテル
〒600-8519
京都府京都市下京区堀川通五条下ル
TEL: 075-341-2411
FAX: 075-341-2488

司会者

新実 彰平

関西テレビ報道ランナーのメインキャスター
(月～金　16：47～19：00　放送)

京都大学野球部出身で関西学生野球
リーグで首位打者やベストナインも獲得
した経験からスポーツ担当も多く務める
現在、売り出し中の若手アナウンサー
同窓会実行副委員長の新実彰男氏の長男

第111回　堀川同窓会のお知らせ

謹啓　同窓会会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

明治～大正～昭和～平成と、長い歴史を刻んできた我が校ですが、５月には天皇陛下が退位され、元号が変わることもあり「平成最後の堀川同窓会」の同窓会となります。そこで昭和から平成時代に大活躍された、堀川OBの佐藤禎一氏と北村源三氏をお招きしました。それぞれの道を究めたお二人の講演やトランペット演奏を聴く又とない機会かと存じます。

司会は関西テレビの新実アナウンサーを招聘し、軽妙な司会と共に宴を進めます。

楽しいお話しと演奏、そしてテーブルビュッフェスタイルのお食事をゆっくりと楽しみながら、旧交を温めて頂ければ幸いです。

多数のご参加をお待ちしております。

敬白

第111回　堀川同窓会
実行委員会(高30期卒)

日　時　：　平成31年4月20日（土）　11:30受付　12:00開宴

会　場　：　京都東急ホテル

参加費　：　7,000円

式次第	（予定）
11:30	受付
12:00	開会
	佐藤禎一氏による講演　堀川賞授与式
13:00	乾杯　歓談後
	北村源三氏によるトランペット演奏
14:45	閉会

毎日新聞社特集「わたしの母校」

昨年、毎日新聞社の「わたしの母校」特集に堀川高校が選ばれました。京都・大阪・神戸から各１高校を選択し、各高校から８名の卒業生を特集する企画です。（大阪は住吉高校、神戸は兵庫高校）
堀川高校から下記卒業生８名の記事が毎週火曜日の朝刊に掲載されました。
みなさん、堀川高校時代の思い出や苦労話、現役生へのメッセージを楽しく掲載されています。

第１回　６月５日掲載

市田ひろみさん（S26卒）

服飾評論家・タレント・女優

マルチな才能の原点は演劇クラブ活動から～

第２回　６月12日掲載

桂塩鯛さん（S48卒）
本名：山下真史さん

落語家（米朝一門）

教室が高座、爆笑の渦に。勉強より「柔道一直線」…

第３回　６月19日掲載

ふく葉さん（S51卒）
本名：藤原温美さん

宮川町芸妓組合長

休講のときは友人と卓球場へ。今は花街宮川町で…

第４回　６月26日掲載

葉加瀬太郎さん（S51卒）

ヴァイオリニスト

堀川で学んだことすべてが今の「枠超える音楽活動」に生かされている…

第５回　７月３日掲載

佐藤禎一さん（S35卒）

元文部事務次官

堀川高校で「何か新しいことをやろう」という姿勢が養われ…

第６回　７月10日掲載

門川大作さん（S44卒）

京都市長

「堀川の奇跡」に市教委幹部として深く関わり…

第７回　７月24日掲載

ネイビーズアフロ（H23卒）
皆川勇気さん、羽尻紘規さん

吉本興業お笑いコンビ

笑いの才能は、文化祭で開花。ボケ担当の皆川さんとツッコミ担当のはじりさん…

第８回　７月31日掲載

久丸さん（S49卒）
本名：中村珠子さん

先斗町芸妓組合長

自由と個性の校風を支えに、「お座敷小唄」で知られる先斗町で…

記事の詳細は、堀川同窓会ホームページ（下記）の「活躍する卒業生」に掲載していますので、是非、検索してみてください。

堀川同窓会ホームページ

トップページ　①母校は今　②沿革　③校長インタビュー　④同窓会写真　⑤同窓会の歩み　⑥お問合せ
⑦活躍する卒業生　⑧学年別同窓会　⑨会報誌　⑩同窓会事務局　⑪役員ご挨拶　⑫住所変更　⑬111回同窓会

⑦活躍する卒業生

各界で活躍する卒業生の情報を掲載しています。是非、見てください！
自薦他薦を問いませんので、投稿お願いします。

⑧学年別同窓会

学年別の同窓会開催情報を掲載しています。
学年別同窓会のホームページの紹介もしています。

⑫住所変更

同窓会名簿の住所変更などはここから！
同窓会名簿次版（平成32年版）は来年３月に発行いたします。

⑬111回同窓会

今年の同窓会はここからでも申し込めます

①堀川文化祭情報など
②堀川高校の沿革がわかります
③恩田前校長に突撃インタビューしました
④これまでの同窓会の写真はココ
⑤堀川同窓会の歴史がわかります
⑥何でもお問合せください
⑨これまでの会報誌履歴はココ
⑩同窓会運営情報がわかります
⑪同窓会会長をご存知ですか？

堀川同窓会

http://horikawa-dosokai.com/

検索